

# 豚熱ワクチンに係るリスク管理

長野県松本家畜保健衛生所

# リスク

豚熱ワクチンによる豚熱に対する抗体が十分に付与されない

## リスクの影響

養豚場における豚熱の発生

# リスクの原因

移行抗体が残っているため  
**ワクチンブレイク**が起きている

## 対応策

抗体付与率が**80%**以上になるように  
**接種日齢**を設定

# ワクチンブレイクの リスクの原因と対応策

1 多くの家畜防疫員が接種時期を  
1ヶ月～2ヶ月齢と認識

2 ワクチン接種のみを行う家畜防疫員  
がいたため、抗体付与率に対する  
関心が低かった

3 豚熱ワクチン接種のために職員、  
農家ともに対応に追われた

4 接種対象豚を農家に聞いて実施し  
ていた(日齢が浅い豚にも接種など)

抗体付与状況結果を全  
家畜防疫員で把握し、  
問題意識を共有

農家担当者を固定。  
農家との情報共有を徹底

# 管内農場の飼養形態等と担当者

農家名	繁殖豚頭数	繁殖管理方法	担当者
A	1 3 0	連続飼育	古谷、鈴木
B	3 0 0	スリーセブン	橋本、田垣、小林
C	2 5 0	スリーセブン	橋本、田垣、鈴木
D	2 0 0	連続飼育	唐澤、青柳
E	5	連続飼育	山本、古谷
F	9 0 0	ウイークリー	唐澤、金子、望月
あずみ野エコファーム	2 5 0	ウイークリー	宮澤、根本

赤字：防疫課職員

# 担当の役割

ワクチン接種日の調整

ワクチン接種

抗体付与状況調査(年2回**以上\***)の日程調整

抗体付与状況調査のための採血

抗体付与状況調査結果の農場への連絡と対応策の実施

**\* 随時、抗体付与状況を把握するための抽出検査を実施**

# あずみ野エコファームワクチンプログラム



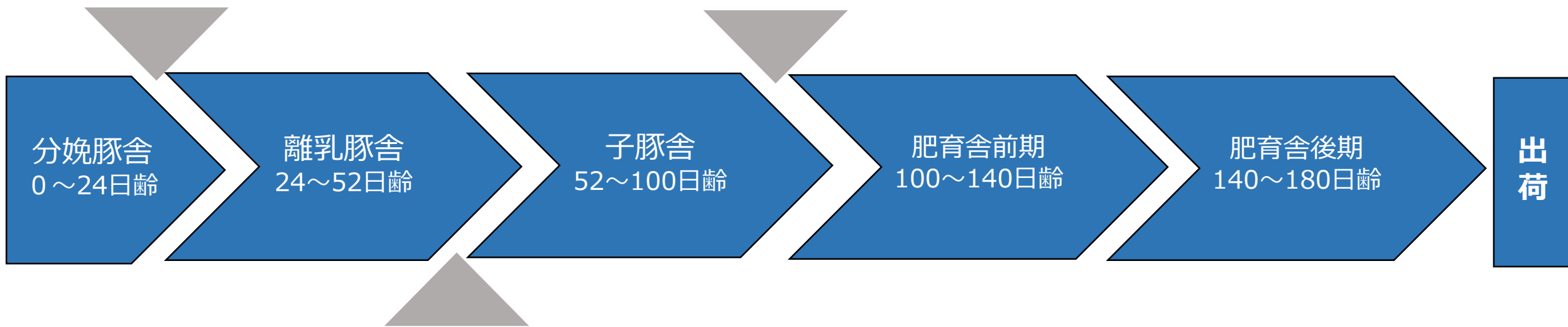
# 基本情報

繁殖豚	250頭
繁殖管理	ウィークリー
離乳	24日齡
豚熱ワクチン接種	1回/週
接種頭数	120頭/週 (6300頭/52週) 6300頭/年 (250頭 × 2.3回 × 11頭)



豚サーコウィルス不活化  
マイコプラズマ・ハイオニューモニエ不活化  
24日齢

アクチノバシラス・プルロニューモニエ不活化  
豚丹毒不活化  
100日齢～



アクチノバシラス・プルロニューモニエ不活化  
豚丹毒不活化  
ペニシリン

**豚熱生ワクチン**  
52日齢 (接種豚全体の10%)  
59日齢 (接種豚全体の10%)  
66日齢 (接種豚全体の80%)



# ワクチン接種体制改善後のあずみ野エコファーム免疫付与状況

番号	ワクチン接種		抗体付与状況検査（ELISA検査）			
	ワクチン接種日	ワクチン 接種日齢	採血日	ワクチン 接種後日数	結果*	S/P値
1	R2.5.21	66	R2.6.25	35	+	<b>0.345</b>
2	R2.5.21	66	R2.6.25	35	+	<b>0.109</b>
3	R2.5.21	66	R2.6.25	35	+	<b>0.122</b>
4	R2.5.21	66	R2.6.25	35	+	<b>0.357</b>
5	R2.5.21	66	R2.6.25	35	±	<b>0.094</b>
			* +：陽性、±：擬陽性、-：陰性			